

イントロダクション

この検出モジュールには、タンパク質の標準化を行う際に必要なすべての試薬が含まれています。Jessの検出モジュールのみでも、組み合わせてもご使用になれます。

内容物

ITEM	PART NUMBER
Protein Normalization Reagent (8チューブ)	043-825
Protein Normalization Reconstitution Agent (3.5 mL)	043-823

保存条件

- DM-TP02キットの内容物を以下のように保存してください。
 - Protein Normalization Reagent -70~-80°Cで保存
 - Protein Normalization Reconstitution Agent -18~28°Cで保存

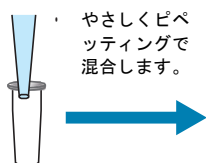
知っておいて欲しいこと

- Separation Moduleに同封されている試薬と消耗品
- プレートの準備に関する説明書も検出モジュールに同封されていますが、弊社ウェブサイトにてダウンロードも可能です。

1. Protein Normalization Reagentの準備

- Protein Normalization Reagentは、プレートに入れる直前に準備してください。

- ピペットチップでアルミホイルを破ります。
- 1つのチューブにつき100 µLのProtein Normalization Reconstitutionを加えます。



- やさしくピペッティングで混合します。

15回ピペッティングして保存溶液をしっかりと混ぜます。

Protein Normalization Reagentチューブ

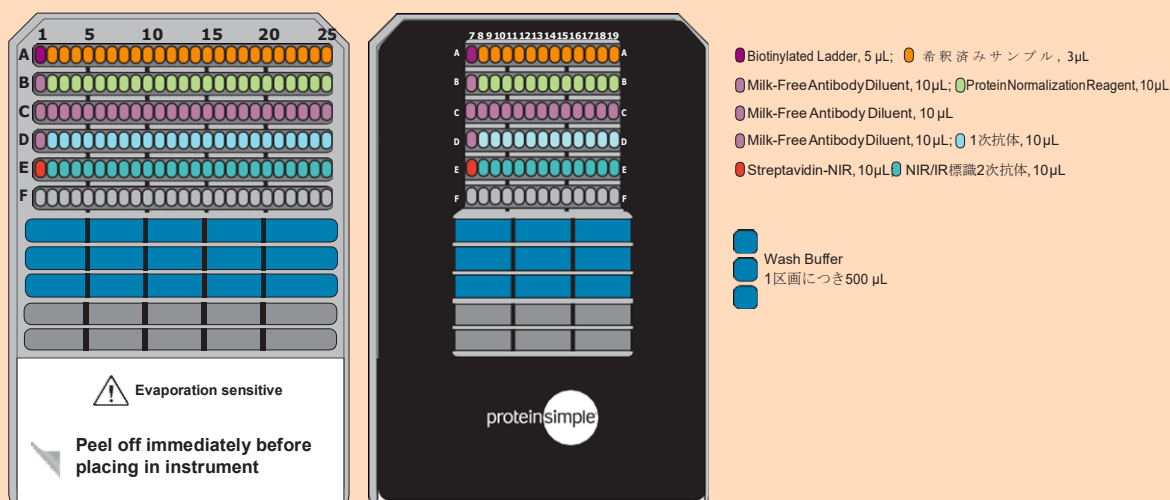
- 下の図のように、サンプルライセート濃度とターゲット分子の分子量に従って、Protein Normalization Reagent保存溶液をReconstitution Agentでさらに希釈し、希釈標準溶液を準備します。15回ピペッティングしてWorking solutionをしっかりと混ぜます。

ライセート濃度	タンパク質の分子量の範囲			
	2-40 kDa		12-230 kDa	
	保存溶液	Reconstitution Agent	保存溶液	Reconstitution Agent
0.2-1.2 mg/mL	50 µL	250 µL	50 µL	250 µL

- アッセイプレートに分注するまで、室温で保存してください。

裏面をご覧ください

2. プレートの準備

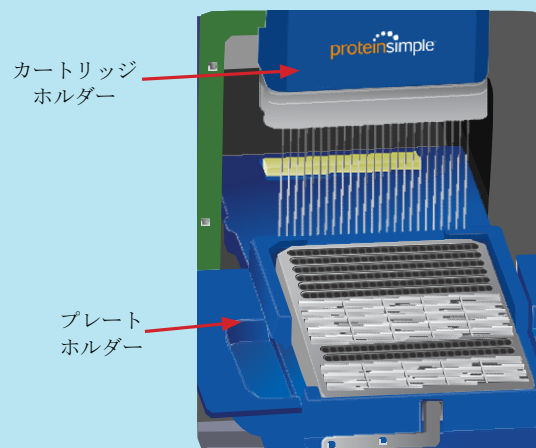


より一貫した結果を得るために、試薬の添加ごとにマイクロプレートに蓋をかぶせ、Wash Bufferを加える際、泡が入らないよう十分お気を付けてください。

1. 上の図に示されている容量の試薬をアッセイプレートに分注します。
2. プレートを室温で5分間、2500 rpm (~1000 x g) で遠心する。各ウェルに泡がないことを確認します。

3. Jessを始めよう

1. v4.0以上のCompassソフトウェアで適切なアッセイをロードします。
2. Jessの扉を開く(銀色部分に触れる。)
3. キャピラリーカートリッジをカートリッジホルダーに入れます。中にあるライトがオレンジから青にかかります。
4. アッセイプレートの蓋を外します。プレートをベンチの上でしっかりと支え、注意して蒸発防止シールをはがします。Separation Matrixの入っているウェルの全ての泡をピペッターのチップでとり除きます。
5. アッセイプレートをプレートホルダーに置きます。
6. Jessの扉を閉めます。
7. Compassソフトウェア上で[Start]を押します。
8. アッセイ後、プレートとカートリッジを廃棄します。



Toll-free: (888) 607-9692
Tel: (408) 510-5500
Fax: (408) 510-5599
info@proteinsimple.com
proteinsimple.com

© 2018 ProteinSimple. ProteinSimple, Simple Western, Jess, and the ProteinSimple logo are trademarks and/or registered trademarks of ProteinSimple.

PL3-0007 RevA